

第15回 岩内町長杯 全道少年U-10サッカー大会 南北海道大会 戦評

【準決勝・Aコート】

$$\text{北海道コンサドーレ札幌 U-12 A} \quad \left(\begin{array}{r} 2-0 \\ 1-0 \\ \hline 3-0 \end{array} \right) \quad \text{Arearea FC A}$$

北海道コンサドーレ札幌 U-12A（以下コンサ）のキックオフで試合開始。キックオフを後方へ下げたボールをコンサ⑥がゴールへ向かってロングキック。スリッピーなピッチに落ちたボールはバウンドしてGKの頭上を越えてゴール。コンサが先制点を挙げる。4分、ペナルティエリア内でパスを受けた



コンサ⑩のシュートをArearea FC A（以下Arearea）のGKが防ぐ。6分、Areareaの⑧が左サイドでパスカット、中央の⑩へパス、⑩はドリブルで仕掛けるもコンサがボールを奪いクリア。7分、Areareaが右サイドからセンタリングするもコンサGKがキャッチ。8分、コンサの攻撃。シュートをAreareaのGKがはじく。そのこぼれ球を⑩が拾ってシュート、ゴールが決まる。9分、AreareaのGKがパントキック。前線にいたArearea②

がボールに競り、そのボールがコンサのゴール方向へ流れる。流れたボールをArearea⑩が受けてシュートするもゴールとはならない。

10分、Areareaの右サイドで⑦がドリブルからセンタリング。中央で受けた⑩がドリブルで仕掛けて⑪へパス、⑪のシュートはコンサのGKがキャッチ。11分、AreareaのDFの裏に抜けたボールをコンサ⑬が拾い、ドリブルで仕掛ける。AreareaのGKとの1対1で抜くも、Areareaの守備陣がカバーする。この間にAreareaのGKがゴールに戻り、シュートをセーブ。前半は2-0で、コンサのリードで終了。

Areareaのキックオフで後半開始。13分、中央でボールを受けたコンサ⑬が右サイドの④へパス。ボールを受けた④はドリブルで仕掛けてシュートするも、AreareaのGKがキャッチ。同じく13分、コンサは⑩⑪を中心に攻撃。2人で左サイドを崩し、ゴールへ迫る。15分、Areareaは⑦が獲得したフリーキックを⑩がキック。右サイドからゴールを狙ったフリーキックは、コンサのGKがキャッチ。



17分、コンサ⑧が中央でボールを奪い、ドリブルで仕掛け、右サイドの⑬へパス。⑬はさらに左サイドにいた⑪へパス。⑪はペナルティエリア内でシュートするも、Arearea⑫がブロック。19分、コンサは⑩が中央からドリブルで仕掛け、左サイドの⑪へパス。⑪はドリブルから中央の⑬へパス。ボールを受けた⑬はシュートするも、AreareaのGKがセービング。20分、混戦からコンサ⑧がボールを奪い、ドリブルで仕掛けシュートするも、AreareaのGKがキャッチ。21分、Areareaは左サイドで⑧⑪のワンツーから中央の⑩へパス。⑩はドリブルで仕掛けてシュートするが、コンサのGKがはじく。こぼれたボールを⑦がシュートするもコンサのGKがセーブ

ング。22分、フリーキックを獲得したコンサは、ゴール方向へキック。そのボールはゴールポストに当たるも、跳ね返ったボールをコンサ⑩がシュートしゴールが決まる。23分、コンサ⑧が右サイドからドリブルで仕掛けてシュート。シュートはポストに当たり、跳ね返ったボールをコンサが再びシュートするが、Arearea は粘り強い守備でゴールを許さず、試合終了のホイッスル。3-0で北海道コンサドーレ札幌 U-12A が決勝戦へ進出を決めた。

北海道コンサドーレ札幌 U-12A は⑧⑩⑪を中心にピッチを広く使って攻撃を組み立てた。ボールの移動中やボールを受けた後、しっかり周りを観て、意図的に攻撃しようとする姿が見られた。

Arearea FC A は⑩⑪を中心に攻撃を組み立て、サイドを使った攻撃が目立った。また、球際での粘り強い守備でボールを積極的に奪いにいく姿勢が見られた。

両チームともに、ボールコントロールの面で技術が高く、意図的に攻撃するプレーが見られた。また、ボール保持者に対しての厳しい守備からボールを奪い、素早い攻撃へつなげるプレーが目立った。

(小樽地区サッカー協会 山崎浩二 中川博人)

【準決勝・Bコート】

WWOジュニアFC	<table style="border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 5px;">0-0</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">0-1</td></tr> <tr style="border-top: 1px solid black;"><td style="padding: 5px;">0-1</td></tr> </table>	0-0	0-1	0-1	プレイフル函館ジュニア
0-0					
0-1					
0-1					

前半 kickoff は WWO。プレイフルのハイプレスから、開始早々にプレイフルがインターセプトし⑨、⑪、⑨、⑩とパスをつないでいく。プレイフル⑩のパスを⑦がシュートするもキーパーがセーブ。1分、プレイフルが攻めたてる。⑨がパスをするもオフサイド。2分、プレイフルのファール。フリーキックをカットされるも、WWO⑮が取り返す。コーナーキック。3分プレイフル⑪コーナーキックからのボールを足に当てるも枠を外れる。4分プレイフル⑨から⑩へのパスが通りシュートも枠を外れる。WWO⑪のキープから⑩、⑦へとつなぎ、②へスルーパスもプレイフルがカット。5分、WWOのコーナーキックもプレイフルのクリア。6分、プレイフル⑩のスルーパスが⑨へ通るもシュートまでは持ち込めず。7分、プレイフル②から⑦へのパス。⑦がドリブルで持ち込んでクロスを上げ、⑩がシュートと打つも枠を大きく外れる。8分、WWOのファールからプレイフル④のフリーキック。WWOキーパーがセーブ。9分、プレイフルのゴールキックをWWOがインターセプトするもプレイフル④が取り返し、大きくクリア。10分、プレイフル⑦のパスから⑪のシュートもキーパー正面。プレイフル⑩、⑨へとパスがつながり、⑦がドリブルで持ち込むも、WWOのカットでコーナーキック。11分コーナーキックのこぼれ球をプレイフル⑪シュートもキーパー正面へ。WWO⑨から⑩へとパスがつながるもプレイフルにカットされ前半終了。後半 kickoff はプレイフル。13分プレイフル②から⑨へロングパスがつながるも WWOのクリア。14分 WWO③から⑪へパスを出すもオフサイド。WWO⑩ドリブルから⑪へとパス、⑪のシュートもプレイフルがカットしコーナーキック。15分、プレイフル⑪のドリブルも WWO カットし、大きくクリア。16分、WWOがプレイフルゴールへ迫るも、WWOのキーパーチャージ。17分、プレイフル⑪の絶妙なロングパスが⑦へつ



ながら、⑦がペナルティエリア内をドリブルで持ち込む。⑦がWWOキーパーを上手にかわしてのシュートが決まりゴール。プレイフルが1点先制。18分、WWOのファールから、プレイフルがフリーキックを獲得。プレイフルキッカー⑩、⑨、⑩と細かくパスをつなげシュートも大きく枠を外れる。19分、プレイフル⑦がゴールキックをカットし、シュートを打つもキーパー正面。一転、WWOがボールを運び、⑩のスループスもプレイフルキーパーがセーブ。20分、混戦からWWO⑩のパスが⑨へとつながり、ドリブルで持ち込むも、プレイフルがクリア。21分、プレイフル⑦、⑨、⑦とパスをつなげるもWWOクリア。22分、WWO⑩



から⑨へのスループスもゴールラインを割る。23分、プレイフルのコーナーキックもWWO大きくクリア。こぼれ球プレイフル⑨がシュートもキーパー正面。ゴールキックをカットし、プレイフル⑩のシュートもキーパーセーブし、コーナーキックへ。WWOがクリアし試合終了。

WWOはこぼれ球からの少ないチャンスをものにできず、プレイフルゴールをこじ開けることができなかった。終始、パスをつなぎ、シュートまで持ち込むことができたプレイフルが決勝進出を決めることができた。

(小樽地区サッカー協会 渋谷大介 出来田智)

【決勝】

北海道コンサドーレ札幌 U-12 A $\begin{pmatrix} 0-2 \\ 1-0 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ プレイフル函館ジュニア



北海道コンサドーレ札幌 U-12A (以下コンサ) のキックオフで試合開始。試合開始から両チームともに攻撃を組み立てるも、球際の守備が厳しく、ゴールの近くまでボールを運ぶことができない。2分、コンサ⑧が右サイドでボールを受け、ファーストシュートを打つもプレイフル函館ジュニア(以下プレイフル) のGKがキャッチ。3分、コンサは⑪～⑧～④～⑩～④とパスをつなぎ右サイドを突破するも、プレイフル

は粘り強い守備で対応する。5分、プレイフル⑪が左サイドでボールを奪い、そのままドリブルで仕掛けるも、相手にボールを奪われる。同じく5分、プレイフル⑩が右サイドを突破し、中央にいる⑪へセンタリング。センタリングを受けた⑪のシュートが決まる。6分、プレイフル⑩が相手のボールをカット。そのままドリブルで相手ペナルティエリアへ持ち込みシュート、ゴールが決まり、2点差とする。7分、コンサ⑪が相手クリアボールを拾い、ドリブルで中央突破しシュートするも、ゴールを外れる。



ここから試合開始同様、両チームともに球際の守備の厳しさが目立ち、ペナルティエリア付近まで攻撃をすることができない時間帯が続く。10分、プレイフル⑪が相手ボールをパスカット。そのままドリブルで仕掛けてシュートするも、相手にブロックされる。11分、コンサは③～⑦へとパスをつなぐ。⑦は右サイドをドリブル突破するも、相手にカットされコーナーキックとなる。コーナーキックのクリアボールをコンサ②が拾いシュートするが、クロスバーに当たる。前半は2-0で、プレイフル函館ジュニアのリードで終了。

プレイフル函館ジュニアのキックオフで後半開始。13分、混戦からコンサ⑤がボールを拾いファーストシュートを打つも、プレイフルのGKがキャッチ。同じく13分、コンサは⑩～⑥～⑪～⑥とボールをつなぎ、左サイドの突破を試みるが、プレイフルDFに阻まれる。15分、コンサ⑫が右サイドから中央へドリブル突破。自分で持ち込みシュートするが、シュートはサイドネットに当たる。16分、プレイフルのコーナーキックをコンサ⑩がクリア。そのクリアボールをプレイフル③がシュートするが、ゴールを外れる。17分、コンサは⑥～⑤と後方で横パスをつなぎ、⑤から⑬へ鋭い縦パスを入れる。⑬はゴール方向へ仕掛けるも、相手にボールを奪われる。19分、コンサ⑥が左サイドを突破しセントリングをあげる。セントリングを受けた⑬がペナルティエリア内でヘディングシュート。ゴールが決まる。20分、コンサは立て続けに攻撃を仕掛け、プレイフル陣内に押し込むが、プレイフルは粘り強い守備でゴールを許さない。23分、コンサ⑭が右サイドを突破し、中央にいる⑪へパス。⑪はシュートするが、相手に当たりコーナーキックとなる。そのコーナーキックからコンサはシュートを打つが、枠を外れる。その後、試合終了のホイッスル。2-1でプレイフル函館ジュニアが優勝を決めた。



両チームともに積極的にボールを奪い、そこから素早く攻撃へと転じていくサッカーを展開した。攻撃面では、ゴール方向への積極的なドリブル突破からの攻撃や、スペースへ動き出している選手へのパスからシュートまでつなげる攻撃が多く見られた。守備面では、前述したように球際でボールを奪うためのプレーが試合を通して見られた。一人一人の技術が高く、選手の今後の成長が期待される試合となった。函館勢として初の優勝となった。

（小樽地区サッカー協会 山崎浩二 渋谷大介）

優勝 プレイフル函館ジュニア



優勝 プレイフル函館ジュニア



準優勝 北海道コンサドーレ札幌 U-12 A